

平成 19 年 3 月期

個別財務諸表の概要

平成 19年 4月 25日

社 名 オリエント時計株式会社

コード番号 7764

上場取引所等 G R 本社所在都道府県 東京都

(URL http://www.orient-watch.com)

役 名 代表取締役社長

名 渡邉 淳 氏

問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理部長

氏 名 河邉俊二 T E L (03) 3255 - 1451

決算取締役会開催日

平成 19 年 4 月 25 日

定時株主総会開催日

平成 19 年 6 月 28 日

単元株制度採用の有無 有(1単元 1,000株)

1 . 19年 3月期の業績(平成18年 4月 1日~平成19年 3月31日)

(1) 経営成績 (単位:百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年 3月期	23,415 (30.6)	183 (45.9)	197 (49.9)
18年 3月期	33,752 (1.9)	338 (48.5)	393 (55.0)

	当期	純利語	益	1株当 当期純		潜在株式記1株当たり当		自 己 資 本 当期純利益率	総 資 産 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	百	万円	%	円	銭	円	銭	%	%	%
19年 3月期	142	(84.8)	4	.50		-	6.3	1.9	0.8
18年 3月期	938	(42.9)	29	.57		-	55.8	3.4	1.2

(注) 期中平均株式数

期末自己株式数

19年 3月期

31,756,893株

23,486株

18年 3月期

18年 3月期

31,757,117株

23,021株

会計処理の方法の変更

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2) 財政状態 (単位:百万円未満切捨て)

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年 3月期	10,283	2,315	22.5	72.90
18年 3月期	10,444	2,183	20.9	68.75
(注) 期末列	送行済株式数 19年 3	月期 31,756,514株	18年 3月期	31,756,979株

19年 3月期 2 . 20年 3月期の業績予想(平成19年 4月 1日~平成20年 3月31日)

0 , 0,		ω.σ ./J .	/2X_0 0/30.F	4 /			
	売上高	経常利益	当期純利益	1株	当たり年間配	己当金	
	九工同	注 中 小 血	二知代列血	中間	期末		
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銵	Ė
中間期	12,600	0	0	-			
通期	24,800	60	0		-	-	

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 0 円 00 銭

3.配当状况

J . HU — 1/1////						
		1株当たり配当金		配当金総額	配当性向	純資産 配当率
(基準日)	中間期末	期末	年間	(年間)	(%)	(%)
18年 3月期 19年 3月期	円 銭 - -	円 銭 - -	円 銭 0.00 0.00	百万円	% - -	% - -
20年 3月期 (予想)	円 銭	円 銭 -	円 銭 0.00			

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今 後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

上記予想に関する事項は、添付資料 4ページをご参照ください。

6.個別財務諸表

(1)貸借対照表

(単位:千円未満四捨五入)

期別	W	1	VI VII	(単12: 1		
#0 1/1	前事業年		当事業年		増	減
	(平成18年3月3	11日現在) 	(平成19年3月3	11日現在) 		
科目	金額	構成比	金額	構成比	金	額
(資 産 の 部)		%		%		
流動資産						
現金及び預金	1,586,057		1,935,106			349,049
受取手形	1,379,578		854,823			524,755
売掛金	1,961,311		2,171,440			210,129
商品	205,771		200,281			5,490
製品	721,861		763,815			41,954
原材料	379,281		619,309			240,028
仕掛品	166,043		120,064			45,979
前払費用	48,896		41,677			7,219
繰延税金資産	148,105		122,018			26,087
関係会社短期貸付金	709,160		584,630			124,530
未収入金	475,284		201,893			273,391
その他	47,810		53,950			6,140
貸倒引当金	1,636		1,083			553
流動資産合計	7,827,521	74.9	7,667,923	74.6		159,598
固定資産						
1 . 有形固定資産						
建物及び構築物	27,284		27,192			92
機械及び装置	92,657		98,622			5,965
工具・器具・備品	37,401		58,180			20,779
土地	4,490		4,490			-
建設仮勘定	-		234			234
有形固定資産合計	161,832	1.5	188,718	1.8		26,886
2 . 無形固定資産	28,544	0.3	66,955	0.7		38,411
3.投資その他の資産						
投資有価証券	337,623		281,840			55,783
関係会社株式	1,001,552		1,001,552			-
関係会社長期貸付金	815,630		791,500			24,130
破産債権、再生債権、更生債権 その他これらに準ずる債権	153,721		16,752			136,969
長期前払費用	7,048		2,170			4,878
繰延税金資産	217,557		236,088			18,531
その他	46,851		46,731			120
貸倒引当金	153,721		16,752			136,969
投資その他の資産合計	2,426,261	23.3	2,359,881	22.9		66,380
固定資産合計	2,616,637	25.1	2,615,554	25.4		1,083
資産合計	10,444,158	100.0	10,283,477	100.0		160,681
	, , , ==		,, -			

-	(単位:千	一円未満四	捨五入)			
期別	前 事 業 年	度末	当 事 業 年	+₩	: ct	
	(平成18年3月3	1日現在)	(平成19年3月3	1日現在)	増	減
科目	金額	構成比	金額	構成比	金	額
(負債の部)		%		%		
流動負債						
買掛金	4,209,279		3,058,453		1,	150,826
短期借入金	1,000,000		1,000,000			-
一年以内返済予定の長期借入金	500,000		875,000		;	375,000
未払金	122,401		160,849			38,448
未払費用	78,316		102,839			24,523
未払法人税等	266,619		48,858		2	217,761
前受金	29,026		22,093			6,933
預り金	19,615		19,232			383
賞与引当金	70,669		73,603			2,934
製品保証引当金	62,219		66,988			4,769
その他	157		75			82
流動負債合計	6,358,301	60.9	5,427,990	52.8	Ç	930,311
固定負債						
長期借入金	1,000,000		1,625,000		(625,000
退職給付引当金	902,695		915,287			12,592
固定負債合計	1,902,695	18.2	2,540,287	24.7	(637,592
負債合計	8,260,996	79.1	7,968,277	77.5	2	292,719
(資本の部)						
資本金	1,937,000	18.5	-	-		-
資本剰余金						
資本準備金	1,324,200		-			-
資本剰余金合計	1,324,200	12.7	-	-		-
利益剰余金						
利益準備金	243,351		-			-
当期未処理損失	1,369,821		-			-
利益剰余金合計	1,126,470	10.8	-	-		-
その他有価証券評価差額金	50,421	0.5	-	-		-
自己株式	1,989	0.0	-	-		-
資本合計	2,183,162	20.9	-	-		-
負債・資本合計	10,444,158	100.0	-	-		-

(単位:千円未満四捨五入)

		1			(単位:干	一门木油匹	括五八)
期別		事 業 年 対18年3月3			当 事 業 年 度 末 (平成19年3月31日現在)		
科目	金	額	構成比	金額	構成比		額
(純資産の部)							
株主資本							
資本金		-	-	1,937,000	18.8		-
資本剰余金							
資本準備金		-		1,324,200		l	-
資本剰余金合計		-	-	1,324,200	12.9		-
利益剰余金							
利益準備金		-		243,351			-
その他利益剰余金							
繰越利益剰余金	<u> </u>			1,227,066			
利益剰余金合計		-	-	983,715	9.6		-
自己株式	<u> </u>		-	2,030	0.0		
株主資本合計		-	-	2,275,455	22.1		-
評価・換算差額等							
その他有価証券評価差額金	<u> </u>		-	39,745	0.4		
評価・換算差額等合計		-	-	39,745	0.4		-
純資産合計		-	-	2,315,200	22.5		-
負債及び純資産合計		-	-	10,283,477	100.0		-

(2)損益計算書

(単位:千円未満四捨五入)

期別	前 事 業 年 度 自 平成17年4月 1日 至 平成18年3月31日		当 事 業 自 平成18年 至 平成19年	増	減	
科目	金額	百分比	金額	百分比	金	額
		%		%		
売上高	33,752,051	100.0	23,415,492	100.0	10,	336,559
売上原価	31,236,034	92.5	20,938,399	89.4	10,	297,635
売上総利益	2,516,017	7.5	2,477,093	10.6		38,924
販売費及び一般管理費	2,177,482	6.5	2,293,829	9.8		116,347
営業利益	338,535	1.0	183,264	0.8		155,271
営業外収益						
受取利息	50,055		39,697			10,358
受取配当金	48,578		2,131			46,447
ロイヤリティー収入	61,757		68,633			6,876
その他	3,510		3,749			239
営業外収益合計	163,900	0.5	114,210	0.5		49,690
営業外費用						
支払利息	45,640		45,825			185
為替差損	17,140		16,078			1,062
手形売却損	33,486		30,368			3,118
その他	12,505		8,038			4,467
営業外費用合計	108,771	0.3	100,309	0.5		8,462
経常利益	393,664	1.2	197,165	0.8		196,499
特別利益						
固定資産売却益	-		5,184			5,184
貸倒引当金戻入益	380,579		1,797			378,782
投資有価証券売却益	19,747		12,074			7,673
関係会社株式売却益	20,330		-			20,330
特別利益合計	420,656	1.2	19,055	0.1		401,601
特別損失						
固定資産除却損	1,722		812			910
投資有価証券評価損	3,574		-			3,574
特別損失合計	5,296	0.0	812	0.0		4,484
税引前当期純利益	809,024	2.4	215,408	0.9		593,616
法人税、住民税及び事業税	112,852	0.3	57,378	0.2		170,230
法人税等調整額	17,107	0.1	15,275	0.1		32,382
当期純利益	938,983	2.8	142,755	0.6		796,228
前期繰越損失	2,308,804		-			-
当期未処理損失	1,369,821		-			-

(3)損失処理計算書及び株主資本等変動計算書

損失処理計算書

(里11) 十日末浦川持刀入)	(単位	・千円	未満四捨五入)
-----------------	-----	-----	--------	---

	期別	前 事 業 年 度 自 平成17年4月 1日 至 平成18年3月31日				
科 目		金額				
当期未処理排	美失	1,369,821				
合	計	1,369,821				
これを次のとおり処理いたします。						
次期繰越損	失	1,369,821				

株主資本等変動計算書

(単位:千円未満四捨五入)

		株主資本									
当 事 業 年 度 自 平成18年4月 1日 7 至 平成19年3月31日		資本乗	資本剰余金		利益剰余金						
	資本金	資本準備 金	資本剰余 金合計	利益準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	自己株式	株主資本 合計			
平成18年3月31日 残高	1,937,000	1,324,200	1,324,200	243,351	1,369,821	1,126,470	1,989	2,132,741			
事業年度中の変動額											
当期純利益					142,755	142,755		142,755			
自己株式の取得							41	41			
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額 (純額)											
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	142,755	142,755	41	142,714			
平成19年3月31日 残高	1,937,000	1,324,200	1,324,200	243,351	1,227,066	983,715	2,030	2,275,455			

	評価・換算差額等		
当 事 業 年 度 自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	純資産合計
平成18年3月31日 残高	50,421	50,421	2,183,162
事業年度中の変動額			
当期純利益			142,755
自己株式の取得			41
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)	10,676	10,676	10,676
事業年度中の変動額合計	10,676	10,676	132,038
平成19年3月31日 残高	39,745	39,745	2,315,200

重要な会計方針

前事業年度

(自平成 17年4月1日 至平成 18年3月31日)

- 1. 有価証券の評価基準及び評価方法
- (1) 子会社株式

移動平均法による原価法により評価しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(時価と比較する取得原価を移動平均法により算定し、評価差額は全部資本直入法によって処理する方法)により評価しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法により評価しております。

- 2. たな卸資産の評価基準及び評価方法
- (1)製品及び商品

移動平均法による原価法によっております。

(2)原材料

主として移動平均法による原価法によっております。

(3)仕掛品

主として総平均法による原価法によっております。

- 3. 固定資産の減価償却の方法
- (1)有形固定資産

定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物 (附属設備を除く)については定額法)を採用しております。 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物 10~47 年 構築物 10~15 年 機械及び装置 8~10 年 工具・器具・備品 2~20 年

(2)無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円 貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

なお、為替予約等の振当処理の対象となっている外貨建 金銭債権については、当該為替予約の円貨に換算しておりま す。

- 5. 引当金の計上基準
- (1)貸倒引当金

金銭債権の貸倒れに備え、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2)賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備え、支給見込額のうち当 事業年度の負担額を計上しております。

(3)製品保証引当金

将来の製品保証に伴う支出に備え、過年度のアフターサービス費の売上高に対する発生率に基づいて計上しております。

(4)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における 退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末において発生 していると認められる額を計上しております。

6. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの 以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借 取引に係る方法に準じた会計処理によっております。 当事業年度

(自平成 18年4月1日 至平成 19年3月31日)

- 1.有価証券の評価基準及び評価方法
- (1) 子会社株式

同左

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(時価と比較する取得原価を移動平均法により算定し、評価差額は全部純資産直入法によって処理する方法)により評価しております。時価のないもの

同左

- 2. たな卸資産の評価基準及び評価方法
- (1)製品及び商品

同左

(2)原材料

同左

(3)仕掛品

同左

- 3. 固定資産の減価償却の方法
- (1)有形固定資産

同左

(2)無形固定資産

同左

- 4 . 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算の基準 同左
- 5 . 引当金の計上基準
- (1)貸倒引当金

同左

(2)賞与引当金

同左

(3)製品保証引当金

同左

(4)退職給付引当金

同左

6. リース取引の処理方法

同左

	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
前事業年度	当事業年度
(自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日)	(自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日)
7.ヘッジ会計の方法	7.ヘッジ会計の方法
(1)ヘッジ会計の方法	(1)ヘッジ会計の方法
振当処理の要件を満たしている為替予約については、振	振当処理の要件を満たしている為替予約については、振
当処理を採用しております。	当処理を採用しております。
	また、特例処理の要件を満たしている金利スワップにつ
(2)	いては、特例処理を採用しております。
(2)ヘッジ手段とヘッジ対象	(2)ヘッジ手段とヘッジ対象
ヘッジ手段	へッジ手段 カサスケークジョロ・プ
為替予約	│ 為替予約、金利スワップ │ ヘッジ対象
外貨建金銭債権	ヘッン刈象
(3)ヘッジ方針	パ貝廷並成良性、旧八良物 (3)ヘッジ方針
	くっぽん
を限定し、実需の範囲内でヘッジを行っております。	金銭債権にヘッジ対象を限定し、実需の範囲内でヘッジを行
	っております。
	金利関連については、借入債務の金利変動によるリスク
	を低減する目的で、対象債務の範囲内でヘッジを行っており
	ます。
(4)ヘッジ有効性評価の方法	(4)ヘッジ有効性評価の方法
ヘッジ手段とヘッジ対象のリスクに関する条件が同一で	通貨関連については、ヘッジ手段とヘッジ対象のリスク
あるため、ヘッジ有効性の評価を省略しております。	に関する条件が同一であるため、また、金利関連については、
	金利スワップの特例処理の要件満たしているため、ヘッジ有
	対性の評価を省略しております。
8.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	8.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項
(1)消費税等の会計処理方法	(1) 消費税等の会計処理方法
消費税等の会計処理方法は、税抜方式を採用しております。	同左 (2)連結納税制度の適用
9。 (2)連結納税制度の適用	(2)理論網税前度の週用 同左
(~)生病病***********************************	비끄스

重要な会計方針の変更

ります。

当社を連結納税親会社とする連結納税制度を適用してお

_ 主女は云川万川の女丈	
前事業年度	当事業年度
(自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日)	(自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日)
	(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準)
	当事業年度より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する
	会計基準」(企業会計基準5号平成17年12月9日)及び「貸
	借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」
	(企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日)を適用
	しております。
	これまでの資本の部の合計に相当する金額は2,315,200千円
	であります。
	なお、当事業年度における貸借対照表の純資産の部について
	は、財務諸表等規則の改正に伴い、改正後の財務諸表等規則
	により作成しております。

注記事項

(貸借対照表関係)

前事業年度末	当事業年度末
(平成 18 年 3 月 31 日現在)	(平成 19年3月31日現在)
1.有形固定資産の減価償却累計額 684,46	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
2.授権株式数 普通株式 48,000,00	
発行済株式総数 普通株式 31,780,00	
3.自己株式の数 普通株式 23,02	株 3
4.関係会社に対する資産・負債	4.関係会社に対する資産・負債
区分掲記されたもの以外で各科目に含まれている	
社に対するものは次のとおりであります。	社に対するものは次のとおりであります。
売掛金 1,025,14	千円 売掛金 1,274,848 千円
未収入金 420,620	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
買掛金 3,402,75	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
5 . 保証債務	5 . 保証債務
下記の会社の公共料金支払保証に対して債務保証	
ります。	ります。
	<u>千円</u> 0.R.TIME(HK)LTD. (39,100 HK\$) 591 千円
	千円 計 591 千円
6.過年度に取得した固定資産のうち、国庫補助金の受	· · · —
より、貸借対照表計上額から控除している圧縮記帳	額は構
築物 6,300 千円であります。	_
7. 資本の欠損	/ .
財務諸表等規則第 67 条に定める差額は 1,371,87	1 千円
であります。	
8.配当制限	8.
商法施行規則第 124 条第 3 号に規定する資産に時	
したことにより増加した純資産額は 50,421 千円で	かりま
す。	
9.—	――― 9 . 事業年度末日満期手形
	事業年度末日満期手形の会計処理については、手形交換
	日をもって決済処理をしております。なお、当事業年度の
	末日は金融機関の休日であったため、次の事業年度末日満期手形が事業年度末残高に含まれております。
	明子がか争業年度未残局に含まれてあります。 受取手形 16,187 千円
	メ4ス ナバッ 10,107]

(損益計算書関係)

前事業年度		当事業年度	
(自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日)		(自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日)	
1.販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおり		1 .販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおり	
であります。		であります。	
販売費		販売費	
給料手当	547,443 千円	給料手当	570,607 千円
賞与引当金繰入額	41,184 千円	賞与引当金繰入額	43,484 千円
退職給付費用	45,798 千円	退職給付費用	43,665 千円
雑給	203,610 千円	雑給	221,808 千円
広告宣伝費	269,765 千円	広告宣伝費	340,229 千円
運搬費	104,311 千円	アフターサービス費	25,215 千円
貸倒引当金繰入額	3,987 千円	貸倒引当金繰入額	3,099 千円
減価償却費	259 千円	減価償却費	5,329 千円
一般管理費		一般管理費	
給料手当	53,609 千円	給料手当	54,073 千円
賞与引当金繰入額	8,818 千円	賞与引当金繰入額	9,542 千円
退職給付費用	10,130 千円	退職給付費用	5,337 千円
減価償却費	10,811 千円	減価償却費	12,656 千円
 2.関係会社との取引に係るものは次の	レお りであります	 2 . 関係会社との取引に係るものは次の	とお りであります
売上高	24,711,647 千円		12,019,129 千円
当期仕入高(材料仕入を含む)	18,816,402 千円	ガエペー ガエペー	10,232,994 千円
外注加工費	7,258,509 千円	外注加工費	6,046,694 千円
受取利息	49,574 千円	受取利息	37,903 千円
受取配当金	22,511 千円	ロイヤリティー収入	34,246 千円
ロイヤリティー収入	34,823 千円		51,215 113
	- , 113		
3 .		3.固定資産売却益の内訳は次のとおり	であります。
		土地	5,184 千円
4.固定資産除却損の内訳は次のとおり	であります。	4.固定資産除却損の内訳は次のとおり	であります。
建物及び構築物	1,300 千円	建物及び構築物	596 千円
工具・器具・備品	422 千円	機械及び装置	216 千円

(株主資本等変動計算書関係)

当事業年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

	****** = 3 ***			
	前事業年度末	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
	株式数	株式数	株式数	株式数
普通株式	23,021 株	465 株	- 株	23,486 株
合計	23,021 株	465 株	- 株	23,486 株

(注)自己株式の数の増加は、単元未満株式の買取による増加分であります。

		火東光午	
前事業年度 (自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日)		当事業年度 (自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日)	
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外の		リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外の	
ファイナンス・リース取引		ファイナンス・リース取引	25100 00000100
ファイックス ラース成引 1.リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減		1.リース物件の取得価額相当額、減価償去	□男計類相当類 減 □
損損失累計額相当額及び期末残高相当額	SHI DRIH — DRY 11%	損損失累計額相当額及び期末残高相当	
機械及び装置			nx
取得価額相当額	7,919 千円		
減価償却累計額相当額	5,939 千円		
期末残高相当額	1,980 千円		
工具・器具・備品		工具・器具・備品	
取得価額相当額	16,800 千円	取得価額相当額	4,694 千円
減価償却累計額相当額	13,652 千円	減価償却累計額相当額	3,032 千円
期末残高相当額	3,148 千円	期末残高相当額	1,662 千円
 無形固定資産		無形固定資産	
無形回足員度 取得価額相当額	3,420 千円	無形回足員度 取得価額相当額	3,420 千円
減価償却累計額相当額	2,423 千円	城守[[[福]] [[]] 減価償却累計額相当額	3,420 千円
期末残高相当額	997 千円	期末残高相当額	143 千円
케///시마마 다	331 113	ガンベンスロッロコロス	140 111
合 計		合 計	
取得価額相当額	28,139 千円	取得価額相当額	8,114 千円
減価償却累計額相当額	22,014 千円	減価償却累計額相当額	6,309 千円
期末残高相当額	6,125 千円	期末残高相当額	1,805 千円
2.未経過リース料期末残高相当額等 未経過リース料期末残高相当額		2 . 未経過リース料期末残高相当額等 未経過リース料期末残高相当額	
	4,400 千円	1 年 内	1,342 千円
1 年 超	1,846 千円	1 年 超	504 千円
<u> 구 쎧</u> 合 計	6,246 千円	_ 	1,846 千円
* :	, , , , , ,	 .	, , , , , , ,
3 . 支払リース料、リース資産減損勘定の取崩	i額、減価償却費	3.支払リース料、リース資産減損勘定の取	双崩額、減価償却費
相当額、支払利息相当額及び減損損失		相当額、支払利息相当額及び減損損失	
支払リース料	18,540 千円	支払リース料	4,465 千円
減価償却費相当額	17,933 千円	減価償却費相当額	4,320 千円
支払利息相当額	220 千円	支払利息相当額	64 千円
4 . 減価償却費相当額の算定方法		4 . 減価償却費相当額の算定方法	
4.減価順利負性日額の昇足万法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零	とする定類注に	4.减減負却負付当額の昇足力法 同 左	
リース期間を制用牛奴とり、残け臓器を令 よっております。	しょるた訳なに	问 生	
0.1.0000000			
5 . 利息相当額の算定方法		5 . 利息相当額の算定方法	
リース料総額とリース物件の取得価額相当	額との差額を利	同左	
息相当額とし、各期への配分方法については	は、利息法によっ		
ております。			
(減損損失について)		(減損損失について)	
リース資産に配分された減損損失はありません。		リース資産に配分された減損損失はあり	りません。

(有価証券)

前事業年度(自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日)及び当事業年度(自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日)における子会社株式で時価のあるものはありません。

(税効果会計)

前事業年度		当事業年度	
(自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日) 1.繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳		(自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 1 .繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の	
1.繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内試 繰延税金資産(流動)		「.繰延枕並員座及び繰延枕並貝頂の光生の 繰延税金資産(流動)	/土は原囚別の内訳
	53,120 千円	深延枕並員座(流動) 賞与引当金繰入限度超過額	29,949 千円
與越欠損金 與越欠損金	53,120 千円 44,992 千円	臭马引马亚族人限度超過額 製品保証引当金	,
には には には には には には には には には には			27,257 千円
たな 単員 生計	45,786 千円	繰越火損並 たな卸資産評価損	4,173 千円
小計	<u>61,000 千円</u> 204,898 千円	たな即員産評価損 その他	58,137 千円 7,953 千円
	•	<u>- その他</u> 小計	127,469 千円
<u> </u>	56,793 千円	- 小司 評価性引当額	•
<u> </u>	148,105 千円	<u>計画性되ヨ額</u> 繰延税金資産(流動)合計	5,451 千円
 繰延税金資産(固定)		<u> </u>	122,018 千円
	367,307 千円	 繰延税金資産(固定)	
型	367,307 十円 323,098 千円	繰延枕並員座(固定) 退職給付引当金繰入限度超過額	372,430 千円
	323,096 千円 278,344 千円		372,430 千円 323,098 千円
その他	276,344 十円 36,170 千円	類形云性怀氏許伽損 繰越欠損金	323,096 十円 299,823 千円
<u>ての他</u> 小計	1,004,919 千円	探越犬損並 その他	299,823 十円 39,766 千円
	746,427 千円	<u>- その他</u> 小計	1,035,117 千円
<u> </u>		- 小司 評価性引当額	765,814 千円
	230,492 丁门	<u>計画性引 目(</u>	269,303 千円
 繰延税金負債(固定)		深些忧並其准(回足)口引 	209,303 十口
その他有価証券評価差額金	40,935 千円	 繰延税金負債(固定)	
<u> </u>	40,935 千円	深延枕並貝員(回足) その他有価証券評価差額金	33,215 千円
深些忧並其頃(回足)口引	40,933 [[]	<u>この他有個証券計画を競売</u> 繰延税金負債(固定)合計	33,215 千円
 繰延税金資産(固定)の純額	217,557 千円	深处忧立其惧(回 <i>化)</i> 口引 	33,213 []
<u>森廷机並負性(固足)の結構</u>	217,557]	 繰延税金資産(固定)の純額	236,088 千円
		<u>森廷忧並負性(固足)の紀報</u>	230,000]
 2.法定実効税率と税効果会計適用後の法	人 知答の負担変との	 2 .法定実効税率と税効果会計適用後の法 <i> </i>	- お笙の負切家との
間に重要な差異があるときの、当該差異		間に重要な差異があるときの、当該差異の	
な項目別の内訳	の派囚にありた工女	は項目別の内訳	が四となった工女
法定実効税率	40.7%	法定実効税率	40.7%
(調整)	40.170	(調整)	40.770
マ	目 0.6%	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜	■ 2.3%
住民税均等割	1.4%	住民税均等割	4.8%
税額控除	2.1%	税額控除	1.4%
評価性引当額	57.9%		15.4%
その他	1.2%	その他	2.7%
- <u>- このに</u> 税効果会計適用後の法人税等の負担率		- <u>- この心</u> 税効果会計適用後の法人税等の負担率	33.7%
「ルルバム」に対していていた。	- 10.170		55.770

(1株当たり情報)

前事業年度	当事業年度	
(自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日)	(自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日)	
1 株当たり純資産額 68.75 円	1 株当たり純資産額 72.90 円	
1株当たり当期純利益金額 29.57円	1株当たり当期純利益金額 4.50円	
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、	
潜在株式が存在しないため記載しておりません。	潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注)1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度	当事業年度	
	自 平成 17 年 4 月 1 日	〔自 平成 18 年 4 月 1 日〕	
	至 平成 18 年 3 月 31 日	至 平成 19年3月31日	
当期純利益	938,983	142,755	
普通株主に帰属しない金額(千円)		-	
普通株式に係る当期純利益(千円)	938,983	142,755	
普通株式の期中平均株式数(株)	31,757,117	31,756,893	